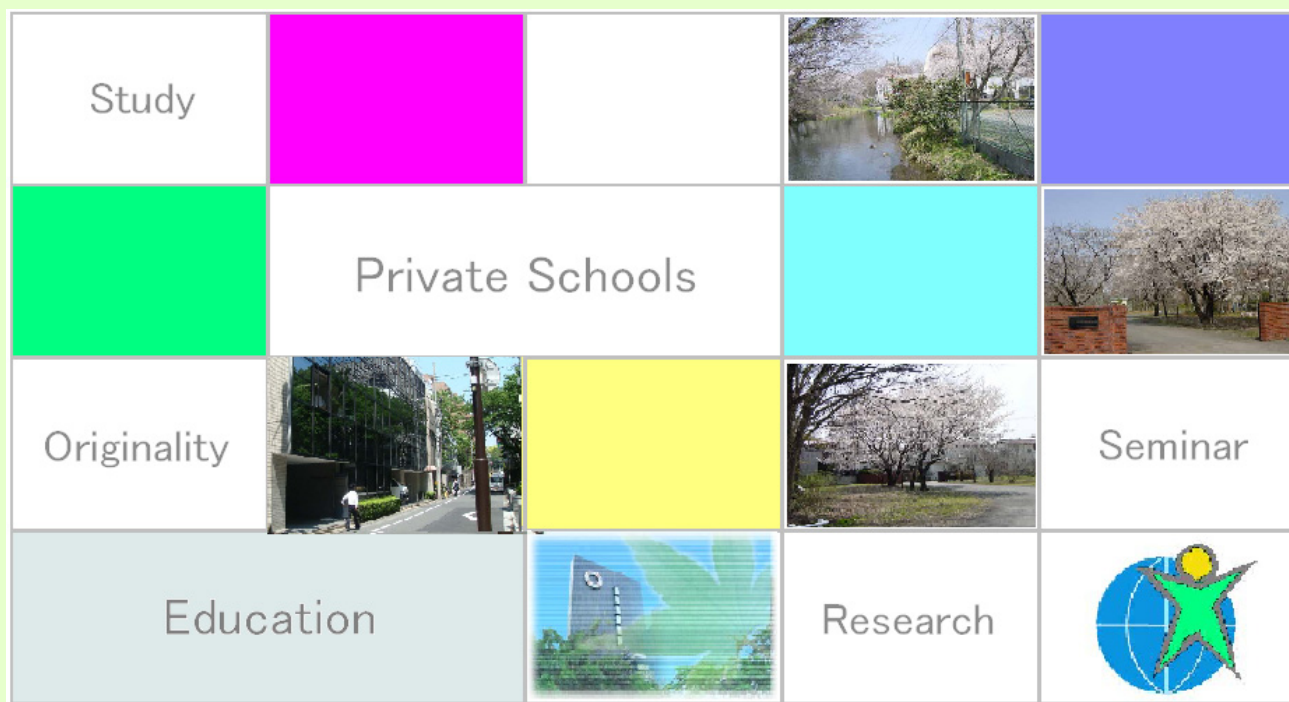


日本私学教育研究所 紀要 第51号

The Bulletin of the EIP SJ Vol.51 June/2015



2015-6

一般財団法人 日本私学教育研究所

The Education Institute for Private Schools in Japan

刊行のことば

中川武夫

日本私学教育研究所では専任研究員並びに全国から公募した委託研究員の先生方に1年間にわたって研究して頂いた成果をまとめ、毎年各学校にお届けしております。今年度も研究員の皆様のご努力により紀要が出来上がりました。この研究成果を全国の学校で共有し、ご活用頂きたいと願っております。

さて、日本の教育界は、教育史の専門家によると第三の波に晒されていると言われております。第一の波は明治維新、押し寄せる西欧文明の中で植民地化に抗うため富国強兵を掲げ、国家神道の中軸とした教育制度が構築されました。第二の波は敗戦からの戦後復興、戦前の教育をすべて否定し、GHQ主導による戦後教育が展開されました。

この第一の波も、第二の波も時代背景は異なりますが短期促成、限られた時間の中で結果を求める教育、すなわち効率よく知識を詰め込むための教育が中心であったと思います。

そして日本の教育界は大局的に見ればこの詰め込み型教育により、大きな成果を上げ、鎖国から近代国家、焦土から経済大国へと突き進む原動力になったと思います。しかし、時代は下り、バブル崩壊や加熱する受験競争への懐疑、その反動からのゆとり教育等々、混乱の中で、日本の教育界は変革を目指してもがき続けながらも結局は過去の成功体験から抜け出せない状況が続いているような気がします。

第三の波は上記の混乱に加え、インターネットの発達によるIT社会への移行だと思っております。情報は質、量においても速さにおいても飛躍的に進化し続け、人も物もお金の流れも大きく変貌し、経済の世界には国境がなくなりました。

このような社会の中では未来予測が付きにくい、学習問題に例えれば、はじめから答えがない、複数の答えが存在する状態だと思っております。知識詰め込み型教育を受け、決められた一つの答えに安心する、常識や固定観念の中でのものを考える習慣のついた人々には生きにくい社会、その流れは止まるどころか加速する一方です。そんな時代を生きる生徒たちにどのような教育を提供するか、教育関係者に今大きな問題が突きつけられているのです。

この第三の波に象徴される時代、教育現場で様々な研究を重ね、新しい教育手法を提案された先生方の研究成果は大いに参考になると思っております。ご活用くださるよう重ねてお願い申し上げて発刊の言葉とさせていただきます。

(一般財団法人 日本私学教育研究所所長)

日本私学教育研究所 紀要 第51号

目 次

1. 国の教育政策と私学
山 崎 吉 朗（一般財団法人日本私学教育研究所）…………… 1
2. 生徒による授業評価をより活かした授業改善に関する研究
高 谷 将 宏（常盤木学園高等学校）…………… 5
3. 本校における特別支援のあゆみ
渡 部 圭 子（米沢中央高等学校）…………… 9
4. 私立中学校における道德教育の実践状況とその特徴
星 野 進（白鷗大学足利中学校）…………… 13
5. オーロラを題材とした高等学校物理教材の作成
林 壮 一（立教新座中学・高等学校）…………… 17
6. 協同学習を取り入れた数学授業
島 智 彦（神奈川学園中学・高等学校）…………… 21
7. 私学教員の力量形成に関する一考察
加 藤 淳（森村学園中・高等部）…………… 25
8. 異なる校種での授業で利用可能な情報活用能力を育てる教材の開発と評価
小 原 久 美（鶴見大学附属中学・高等学校）…………… 29
9. 数学普通教育の水準向上のための基礎研究および拡充教育的手法による教材開発
田 村 篤 史（栄光学園中学・高等学校）…………… 33
10. 私学中学生の学習意識調査に基づく教育方法に関する再考察
原 健 一（藤嶺学園藤沢中学・高等学校）…………… 37

| | |
|------------------------------------|----|
| 11. グローバル時代におけるキャリア教育を考える | |
| 佐藤英児（東京女学館中学・高等学校） | 41 |
| 12. 東北地方・太平洋沖地震＜衝撃期＞における組織的対応の分析 | |
| 田中伯知（早稲田大学高等学院） | 45 |
| 13. 特別支援教育を実施できる学校づくりのために | |
| 遠藤裕子（大東学園高等学校） | 49 |
| 14. 反転学習に集団反応分析器を導入した物理実験授業 | |
| 島野誠大（十文字中学・高等学校） | 53 |
| 15. 気づきから実践まで繋げる21世紀型の心の教育法 | |
| 山名和樹（聖徳学園中学・高等学校） | 57 |
| 16. 「総合的な学習の時間」の理想と現実 | |
| 中村裕行（遊学館高等学校） | 61 |
| 17. 音楽科における幼小中高一貫カリキュラムの開発 | |
| 塚本伸一（東海大学附属小学校） | 65 |
| 18. 高等学校の数学を不得意とする生徒の学力向上をめざして | |
| 大石幸永（星城中学・高等学校） | 69 |
| 19. エンロールメント・マネージメントを基盤とする学校評価のあり方 | |
| 平井正朗（龍谷大学附属平安中学・高等学校） | 73 |
| 20. 人口減少時代の私立高校のあり方に関する研究 | |
| 児玉英靖（洛星中学・高等学校） | 77 |
| 21. 電子黒板の活用を探る | |
| 奥野雅和（京都文教中学・高等学校） | 81 |
| 22. グローバル時代我が国の立場を発信できる生徒を育てるために | |
| 井上泰朗（相愛中学・高等学校） | 85 |

| | |
|--|-----|
| 23. より良い教育活動を行うための学校評価の活発な活用 宇野美和（大阪成蹊女子高等学校） | 89 |
| 24. 学校における危機管理について 田中栄司（桃山学院中学・高等学校） | 93 |
| 25. コミュニケーション力を育てる情報科の授業 岡本弘之（聖母被昇天学院中学・高等学校） | 97 |
| 26. ネット社会の光と影を高校生自ら考える 米田謙三（羽衣学園高等学校） | 101 |
| 27. 小学校における学習基本語彙の調査・研究 今宮信吾（関西大学初等部） | 105 |
| 28. 「受験指導」と「双方向型の授業」の両立を目指して 西山隆之（六甲中学・高等学校） | 109 |
| 29. 近隣小学生へのロボット教育の実践 八尋博士（帝塚山中学・高等学校） | 113 |
| 30. 今、「国語」の可能性を考える 石原雅子（奈良学園中学・高等学校） | 117 |
| 31. 地域に開かれたパーソナルファブリケーションの推進 田中将省（鳥取城北高等学校） | 121 |

日本私学教育研究所 紀要 第51号
The Bulletin of the EIPSJ Vol.51 June/2015

平成27年 6 月27日 印刷

平成27年 6 月30日 発行

編集兼 一般財団法人 日本私学教育研究所
発行人 所 長 中 川 武 夫

発行所 一般財団法人 日本私学教育研究所
東京都千代田区九段北4-3-8

市ヶ谷UNビル6階

〒102-0073 TEL 03-3222-1621

URL <http://www.shigaku.or.jp/>

印刷所 株式会社カワマタ印刷工芸社
東京都江東区門前仲町1-11-2

ISSN 0285-7391

